

株式会社メニコン

2026年3月期 第2四半期決算説明資料

証券コード：7780

2025年11月14日

- I 2026年3月期第2四半期 連結業績概要
- II 2026年3月期通期 連結業績予想と見通し



I .2026年3月期第2四半期 連結業績概要

2026年3月期 連結業績サマリー

1DAY販売拡大及び価格改定効果により、売上総利益・EBITDAは増益

(百万円)	2025/3期2Q	2026/3期2Q	前年同期比	前年同期比 (為替影響除き)
売上高	60,571	61,480	+1.5%	+1.9%
売上原価	27,770	28,205	+1.6%	+1.7%
(原価率)	45.8%	45.9%	(+0.1pt)	-
売上総利益	32,801	33,275	+1.4%	+2.0%
販売費及び一般管理費	27,313	28,106	+2.9%	+3.0%
(売上高販管費率)	45.1%	45.7%	(+0.6pt)	-
営業利益	5,487	5,168	△5.8%	△2.7%
(売上高営業利益率)	9.1%	8.4%	(△0.7pt)	-
EBITDA*	9,455	10,003	+5.8%	+7.6%
(EBITDAマージン)	15.6%	16.3%	(+0.7pt)	-
経常利益	5,618	5,016	△10.7%	△7.9%
親会社株主に帰属する中間純利益	3,622	3,153	△12.9%	△8.6%

2025/3期2Qにおける実勢レート EUR : 165.8円、USD : 152.5円、CNY : 21.3円
 2026/3期2Qにおける実勢レート EUR : 168.7円、USD : 146.1円、CNY : 20.3円

(参考)過去の数値は以下のデータブックよりご確認ください。
<https://www.menicon.co.jp/company/ir/databook.html> 3

* EBITDAは営業利益、減価償却費、のれん償却から算出



売上高の内訳

1DAYの供給量増加とグローバルでの販売拡大により、1DAYを中心に伸長

(百万円)	2025/3期 2Q	2026/3期 2Q	前年同期比	前年同期比 (為替影響除き)
売上高	60,571	61,480	+1.5%	+1.9%
ビジョンケア*	56,295	57,278	+1.7%	+2.1%
1DAY	15,389	16,497	+7.2%	+7.2%
国内_メルスプラン	11,195	11,533	+3.0%	-
国内_物販	2,777	3,273	+17.9%	-
海外	1,416	1,689	+19.3%	+19.1%
オルソケラトロジー関連	7,656	6,800	△11.2%	△7.9%
その他コンタクトレンズ・レンズケア	33,249	33,980	+2.2%	+2.1%
ヘルスケア・ライフケア	4,276	4,202	△1.7%	△1.5%
1DAY+その他コンタクトレンズ・レンズケア	48,638	50,478	+3.8%	+3.7%
メルスプラン	24,883	25,189	+1.2%	-

* 2025/3期2Qにおける実勢レート EUR : 165.8円、USD : 152.5円、CNY : 21.3円

2026/3期2Qにおける実勢レート EUR : 168.7円、USD : 146.1円、CNY : 20.3円

* オルソケラトロジー関連に含まれるオルソK（グローバル）は、2026/3期より集計方法を一部見直し

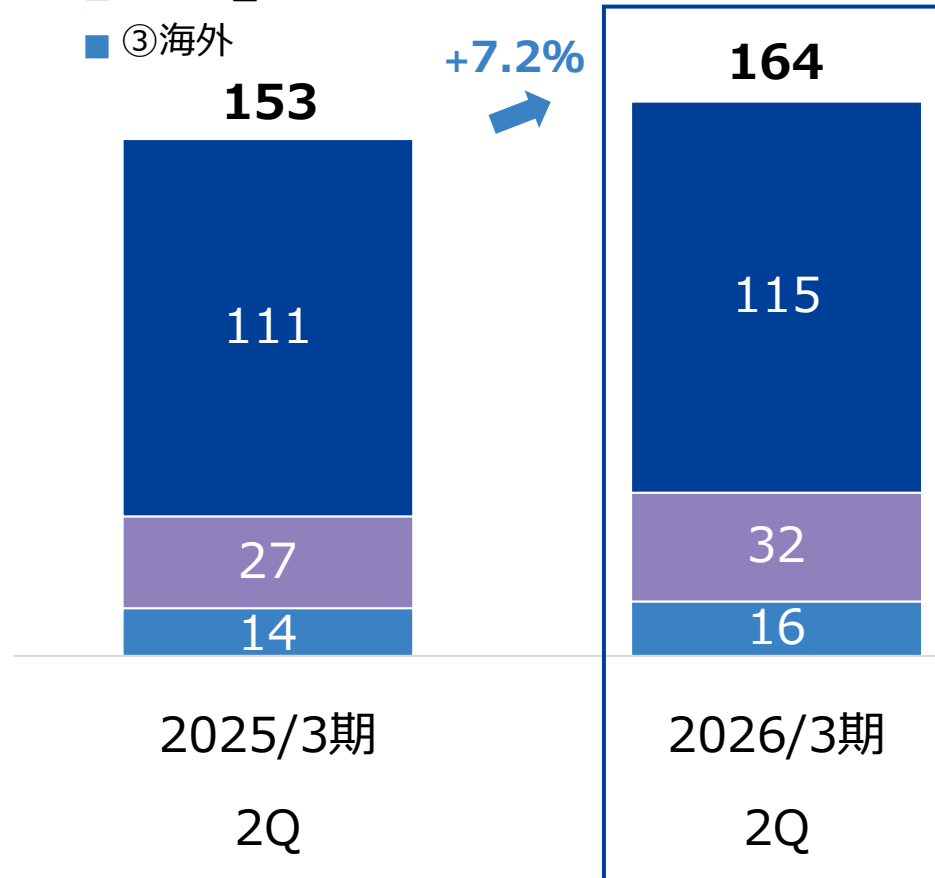
1DAY売上高（売上高の内訳）

増産や国内での新製品導入による供給量増加が起因し、グローバルでの販売拡大により伸長

(億円) ■ ①国内_メルスプラン

■ ②国内_物販

■ ③海外



① 国内_メルスプラン（前年同期比：+3.3億円 +3.0%）

- ・ 新製品導入による供給量増加でメルス会員数増加
- ・ 価格改定効果

② 国内_物販（前年同期比：+4.9億円 +17.9%）

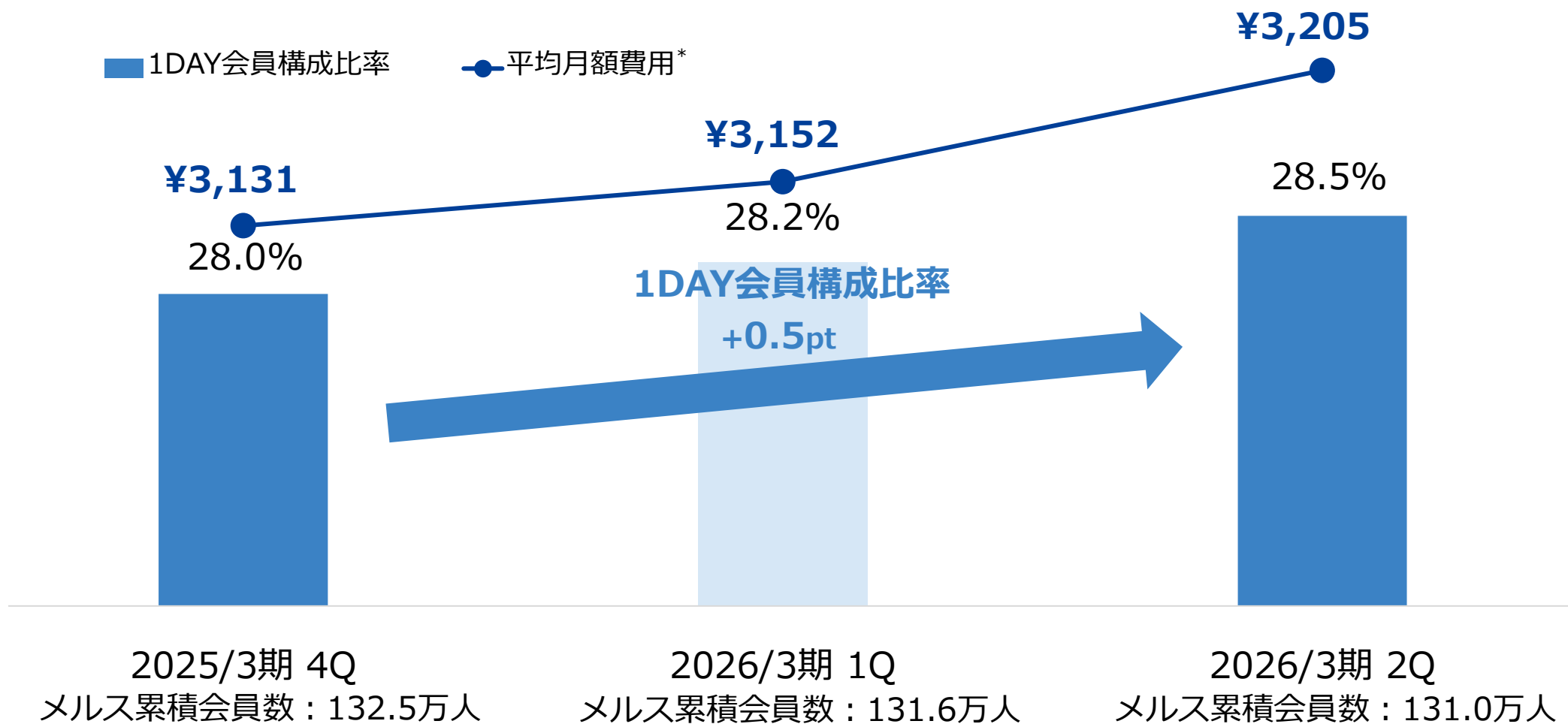
- ・ 増産や新製品導入による供給量増加で販売拡大
- ・ 価格改定効果

③ 海外（前年同期比：+2.7億円 +19.3%）

- ・ 欧州での量販チェーン向け販売拡大
- ・ 東南アジアでの販売会社のM&A効果

メルスプラン会員構成と平均月額費用推移

新製品を中心とした1DAY構成比率の上昇、価格改定による平均月額費用の増加



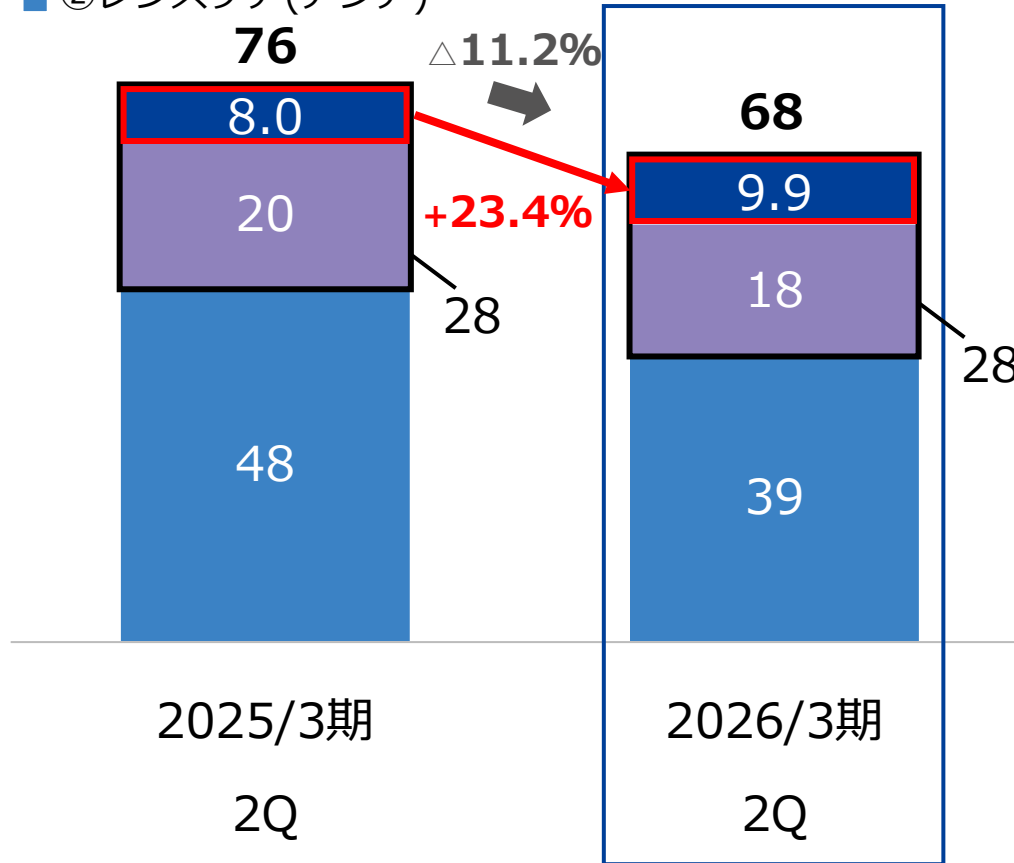
* 平均月額費用 = メルス売上高 ÷ 決算月数 ÷ メルス会員数

オルソケラトロジー関連売上高（売上高の内訳）

中国での景気停滞影響や競争環境激化が継続する一方、国内等で販売拡大

（億円）

- ①オルソK(グローバル)_国内・欧州等
- ①オルソK(グローバル)_中国
- ②レンズケア(アジア)



① オルソK(グローバル)* (前年同期比：△0.3億円 △1.1%)

- ・ 国内：当社取扱施設拡大（+1.6億円）
- ・ 韓国/東南アジア：販売拡大
- ・ 中国：景気停滞による代替製品の普及等により販売減少（△2.1億円）

② レンズケア(アジア) (前年同期比：△8.2億円 △17.2%)

- ・ 中国：前年同期は大規模な販促活動実施により売上増加、オルソK代替品普及や競争環境激化、円高による影響（△10.2億円）

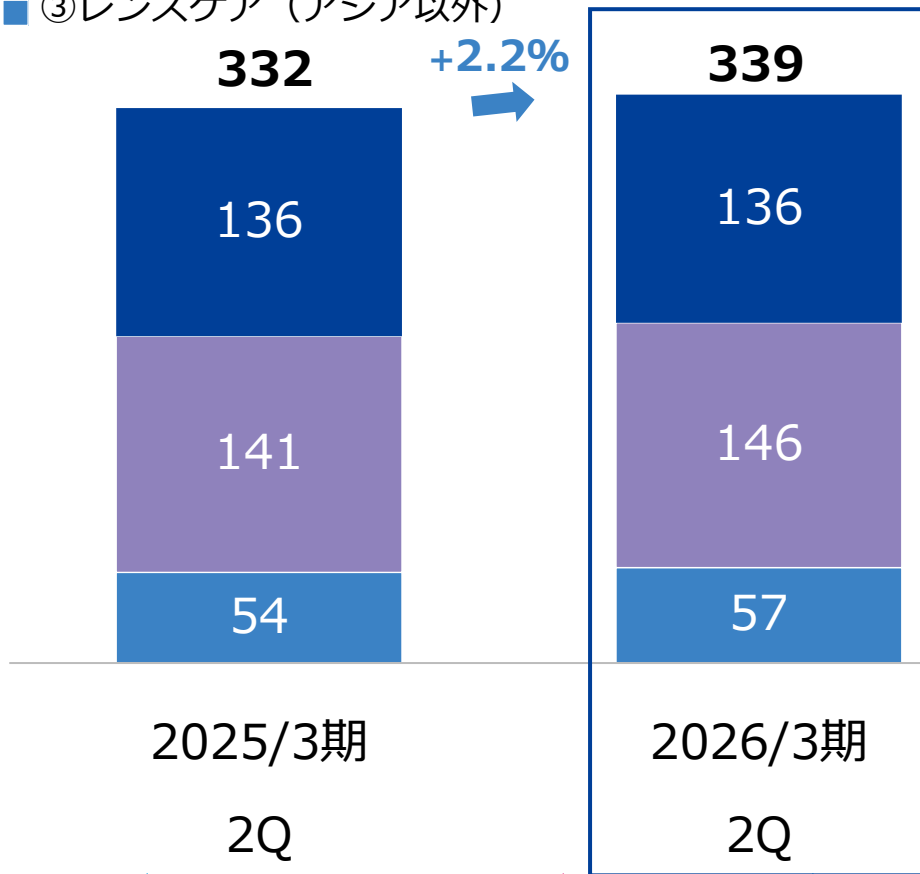
* オルソK（グローバル）は、2026/3期より集計方法を一部見直し

その他コンタクトレンズ・レンズケア売上高（売上高の内訳）

国内での価格改定効果に加え、欧州での1MONTH販売拡大等により伸長

（億円）

- ①メルスプラン
- ②コンタクトレンズ
- ③レンズケア（アジア以外）



① メルス（前年同期比：△0.3億円 △0.2%）

- ・ 1DAY需要増加により1DAY以外の会員数減少
- ・ 価格改定効果

② コンタクトレンズ（前年同期比：+5.1億円 +3.6%）

- ・ 欧州での1MONTH販売拡大、東南アジアでのM&A効果
- ・ 価格改定効果

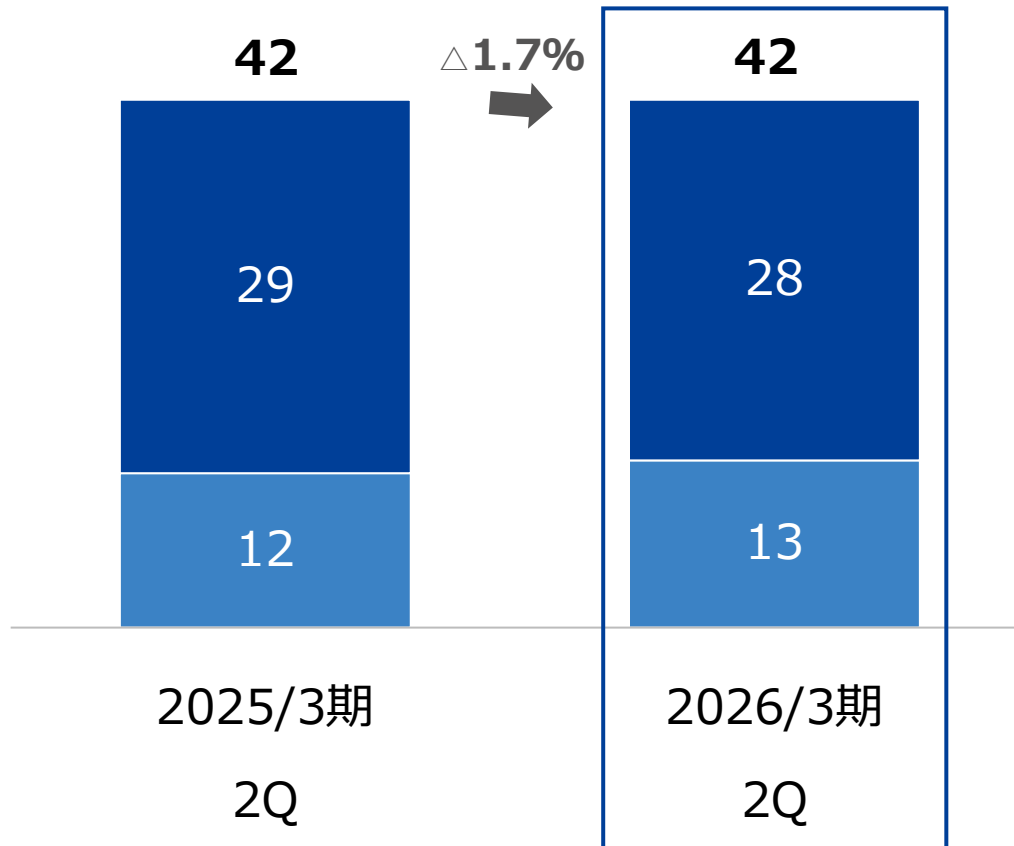
③ レンズケア（アジア以外）（前年同期比：+2.4億円 +4.6%）

- ・ 国内での高単価製品の販売拡大
- ・ 北米での新規取引開始による販売拡大

ヘルスケア・ライフケア売上高

食品事業が減少する一方、ライフケア事業での堆肥化関連ビジネス伸長により横ばい

(億円) ■ ①食品事業
■ ②その他



① 食品事業（前年同期比：△0.8億円 △3.0%）

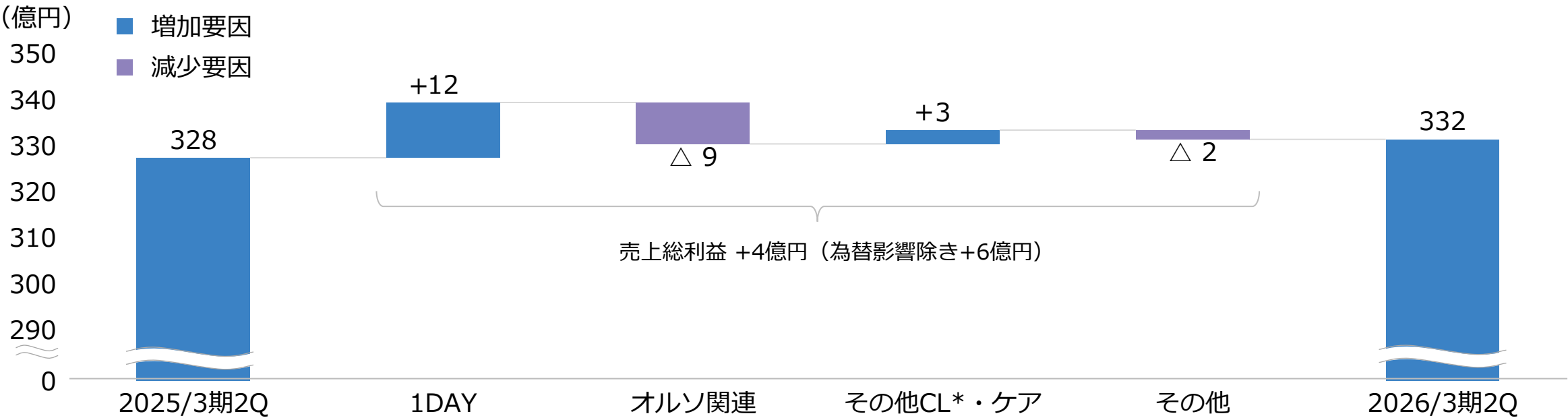
- ・ 米国を中心とした販路拡大、中国での事業規模縮小

② その他（前年同期比：+0.1億円 +1.1%）

- ・ ライフケア事業での堆肥化関連ビジネス等の売上高増加

前年実績と今回実績の増減分析（売上総利益）

1DAY売上高増加や価格改定効果により、売上総利益は2Qで増益に転じる



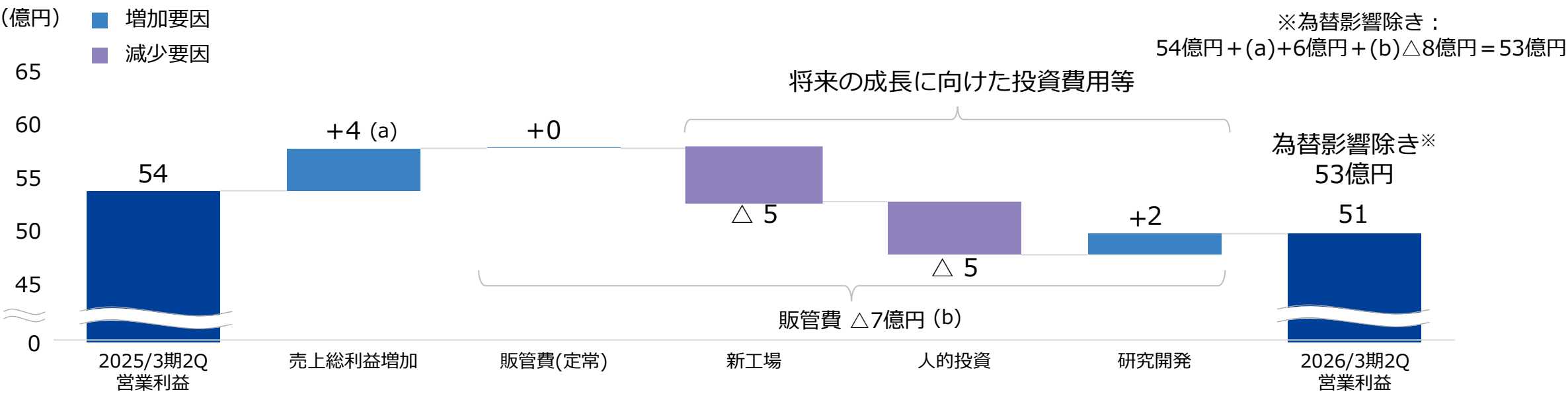
・ 主な増減理由

項目	
1DAY	メルスプラン1DAY会員数増加や国内外での販売拡大、価格改定効果
オルソ関連	国内で販売拡大する一方、中国での景気停滞影響や競争環境激化等による影響
その他CL*・ケア	欧州での1MONTH販売拡大、国内/北米でのレンズケア販売拡大、価格改定効果
その他	ヘルスケア・ライフケアの利益率良化、会計処理等

* コンタクトレンズの略称

前年実績と今回実績の増減分析（営業利益）

新工場稼働準備費用等の成長投資が増加する一方、構造改革効果により効率的に販管費を使用



・ 販管費(定常)の主な内訳

項目		金額 (億円)
広告/販促費	事業撤退に伴う構造改革効果等	+1.4
のれん償却費	前期のM&Aに伴う増加	△0.6

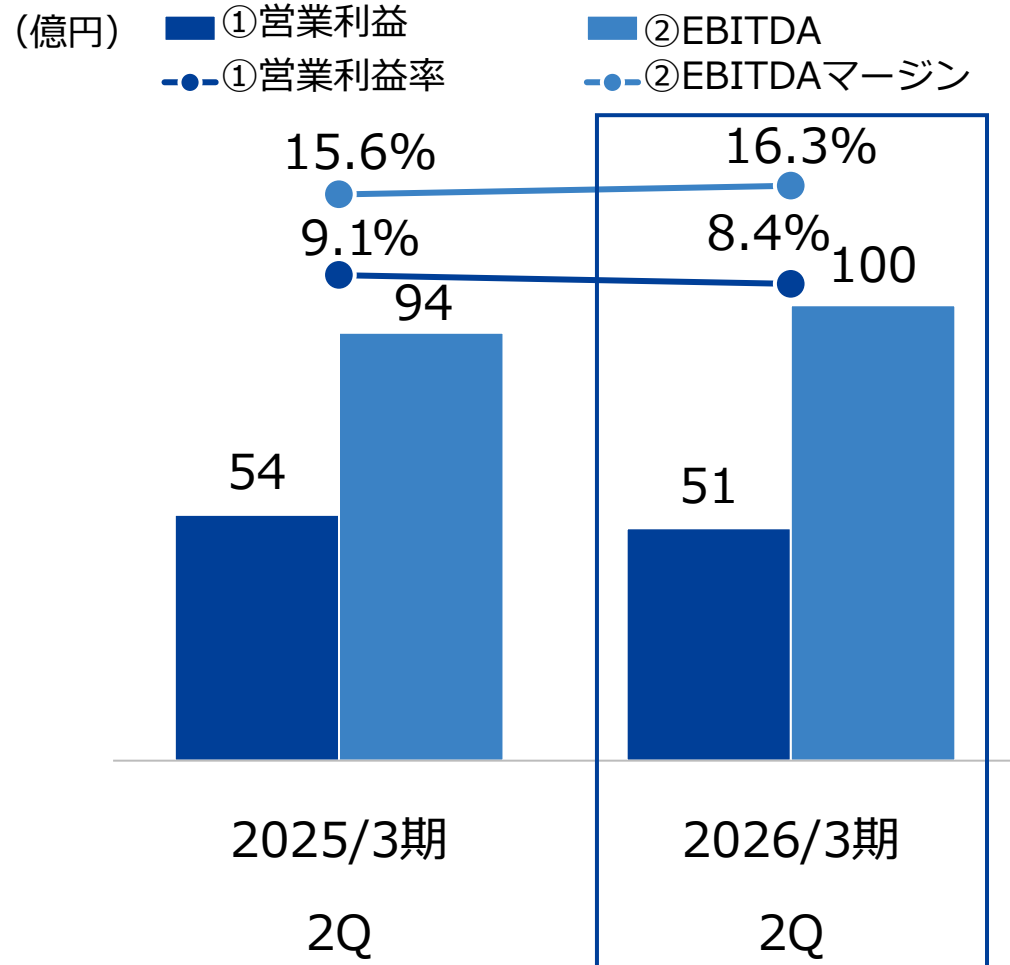
・ 将来の成長に向けた投資費用の主な内訳

項目		金額 (億円)
新工場	1DAY新生産拠点であるマレーシア工場の稼働準備	△5
人的投資	国内外での賃上げ等	△5
研究開発	製品展開国の拡大や新製品の開発 前年は治験費用などが発生	+2



連結営業利益・EBITDA

成長投資を継続する一方、収益性が向上し、EBITDAは増益



1 営業利益 (前年同期比 : $\Delta 3.1$ 億円 $\Delta 5.8\%$)
営業利益率 (前年同期比 : $\Delta 0.7$ pt)

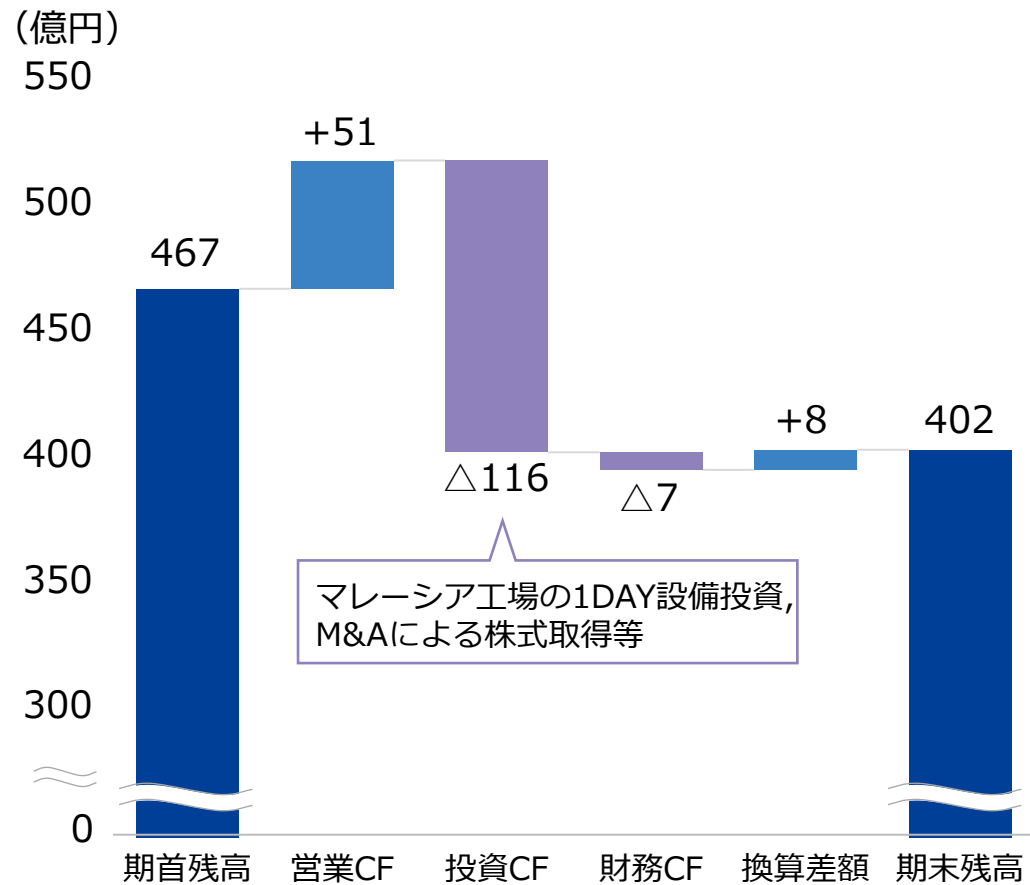
- 売上総利益 : $+4.7$ 億円 (328億円 $\rightarrow$ 332億円)
1DAY販売拡大や国内での価格改定効果
- 販管費 : $+7.9$ 億円 (273億円 $\rightarrow$ 281億円)
成長投資(新工場/人的投資/研究開発)を継続
広告販促など活動費用を継続して効率化

2 EBITDA (前年同期比 : $+5.4$ 億円 $+5.8\%$)
EBITDAマージン (前年同期比 : $+0.7$ pt)

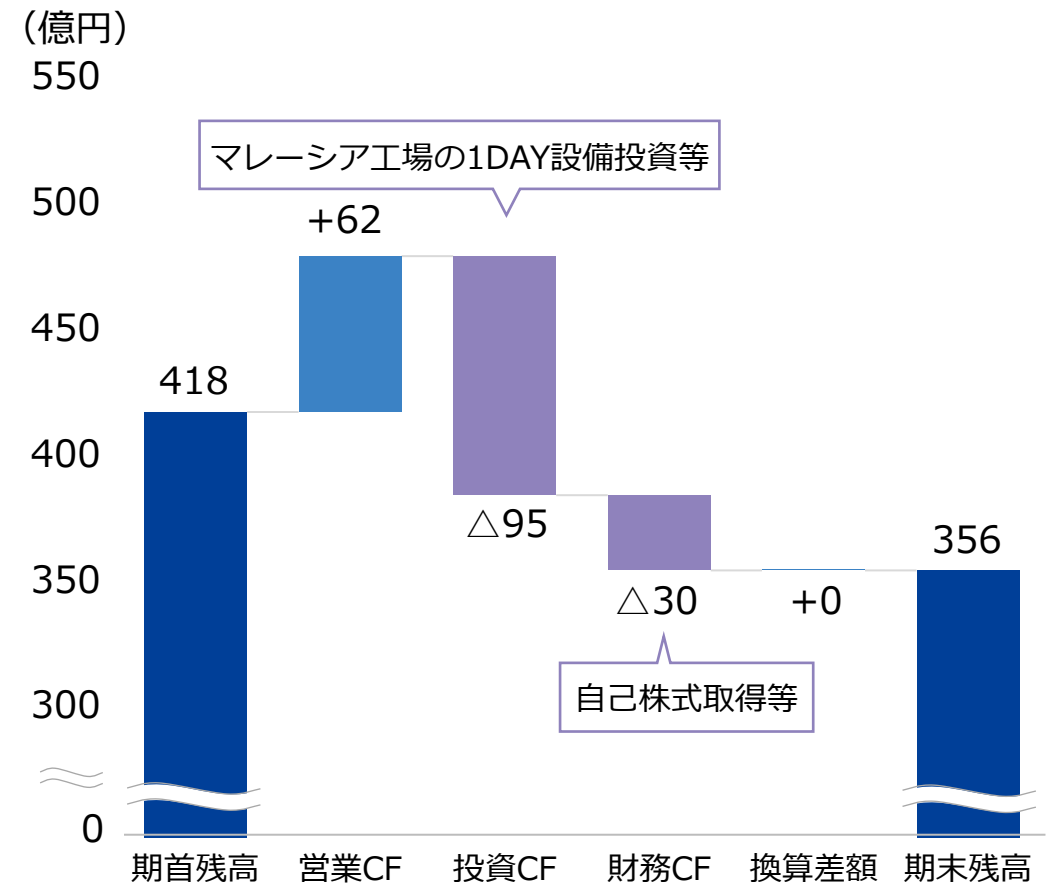
- 減価償却費 : $+7.9$ 億円 (37.3億円 $\rightarrow$ 45.3億円)
主に1DAY設備投資 (マレーシア工場含む) 分増加

連結キャッシュフロー比較

2025/3期 第2四半期



2026/3期 第2四半期



Ⅱ.2026年3月期通期 連結業績予想と見通し

2026年3月期 連結業績予想と進捗状況

2Q実績は概ね想定通りに進捗、連結業績予想は5月から変更なし

(百万円)	2025/3期 実績*	2026/3期 2Q実績	2026/3期 予想	進捗率
売上高	121,491	61,480	125,000	49.2%
売上原価	56,456	28,205	58,900	47.9%
(原価率)	46.5%	45.9%	47.1%	---
売上総利益	65,034	33,275	66,100	50.3%
販売費及び一般管理費	55,022	28,106	55,900	50.3%
(売上高販管費率)	45.3%	45.7%	44.7%	---
営業利益	10,012	5,168	10,200	50.7%
(売上高営業利益率)	8.2%	8.4%	8.2%	---
EBITDA	18,457	10,003	19,200	52.1%
(EBITDAマージン)	15.2%	16.3%	15.4%	---
経常利益	9,567	5,016	9,500	52.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,597	3,153	5,800	54.4%

2025/3期における実勢レート

EUR : 163.7円、USD : 152.6円、CNY : 21.1円

2026/3期2Qにおける実勢レート

EUR : 168.7円、USD : 146.1円、CNY : 20.3円

2026/3期(予想)における前提為替レート

EUR : 161.2円、USD : 142.6円、CNY : 19.0円

* 2026/3期1Qにおいて、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025/3期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

売上高の内訳と進捗状況

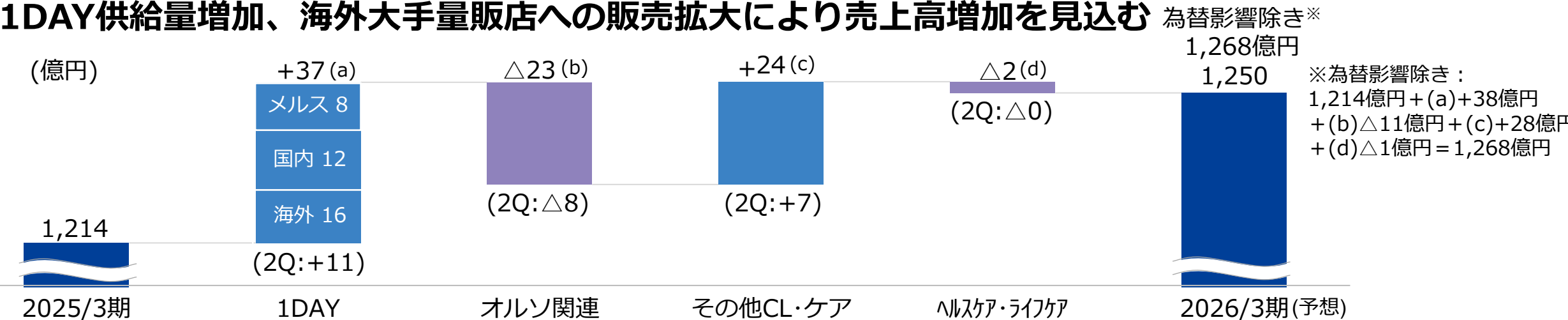
2Q実績は概ね想定通りに進捗

(百万円)	2025/3期 実績	2026/3期 2Q実績	2026/3期 予想	進捗率
売上高	121,491	61,480	125,000	49.2%
ビジョンケア	112,327	57,278	116,100	49.3%
1DAY	30,940	16,497	34,700	47.5%
メルスプラン	22,458	11,533	23,300	49.5%
国内物販	5,740	3,273	7,000	46.8%
海外	2,742	1,689	4,400	38.4%
オルソケラトロジー関連	14,889	6,800	12,500	54.4%
その他コンタクトレンズ・レンズ ケア	66,496	33,980	68,900	49.3%
ヘルスケア・ライフケア	9,163	4,202	8,900	47.2%

(参考) 2026/3期のメルスプラン売上高として、510億円を予想
2026/3期2Qのメルスプラン売上高は251億円（進捗率49.4%）

2026年3月期の売上高見通し

為替影響(△約19億円を想定)、中国における景気停滞の影響を加味
中国オルソ関連は計画通りの着地を見込む
1DAY供給量増加、海外大手量販店への販売拡大により売上高増加を見込む



項目	3Q以降の見通し	業績へ影響する要因
1DAY	供給量増加、国内OEM品導入(2Q)、マレーシア出荷(4Q) 海外大手量販店向け販売拡大(4Q以降) 価格改定効果(国内：2Q～)	・ 為替の変動 ・ 米国関税政策
オルソ関連	中国市場成長停滞・シェア維持 その他国内を含むアジア諸国を中心に普及拡大	中国市場の見通し 概ね想定通り
その他コンタクトレンズ・レンズケア	欧州ディスプレイレンズ販売拡大 海外レンズケア販売チャネル拡大 価格改定効果(国内：2Q～)	メニコンの状況 オルソK：2Qに新製品の導入、シェア維持 レンズケア：病院・ECチャネル販促活動投下、 シェアトップ維持
ヘルスクア・ライフケア	事業撤退により売上高減少	四半期毎に販売量の増減はあるが 計画通りの着地を見込む

投資実行期はOEM品導入により国内で販売量上乘せ、増産分を欧州・北米中心にアロケートし投資回収期に向けて販売拡大加速

国内

シリコン素材1DAY新製品導入



メルスプランにラインアップ
(2025年7月～)



取扱い施設にて販売開始
(2025年8月～)

中国

コンタクトレンズ専門販売店のオンラインサイトで販売開始
他のECチャネルでの販売開始(2025年7月～)



欧州・北米

地域量販チェーンへの新規販売開始
大手量販店向け供給拡大(2026年3月期4Q以降)



中長期的な需要拡大を見据え1DAYの生産体制を増強 マレーシア工場の稼働と生産能力増強

シリコン素材



各務原工場

製造品： 1DAYメニコン プレミオ
販売地域：グローバル

2027/3期下期：12号ライン稼働予定



マレーシア工場

製造品： 1日使い捨てコンタクトレンズ
販売地域：グローバル

2026/3期3Q：1号-2号ライン稼働開始（4Q出荷開始予定）

2027/3期下期までに5号ラインまで増設予定

2028/3期下期までに8号ラインまで増設予定



環境配慮型/非シリコン素材



シンガポール工場

製造品： Magic
販売地域：グローバル

2026/3期5月：9号ライン稼働開始

2026/3期4Q：10号ライン稼働予定



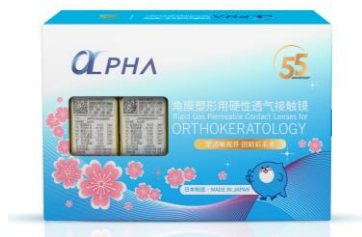
オルソケラトロジーレンズは処方家の育成、複数製品の特長を活用した販売拡大 レンズケアはオルソケラトロジーレンズの拡大と共に販売拡大

欧州・北米

- ・グループ子会社を通じた処方家育成
- ・学術活動による認知拡大
- ・ソフトウェア開発による処方サポート向上

国内

- ・KOLを通じた認知拡大活動
- ・取扱施設数の拡大
- ・近視進行抑制用オルソケラトロジーレンズの開発



中国

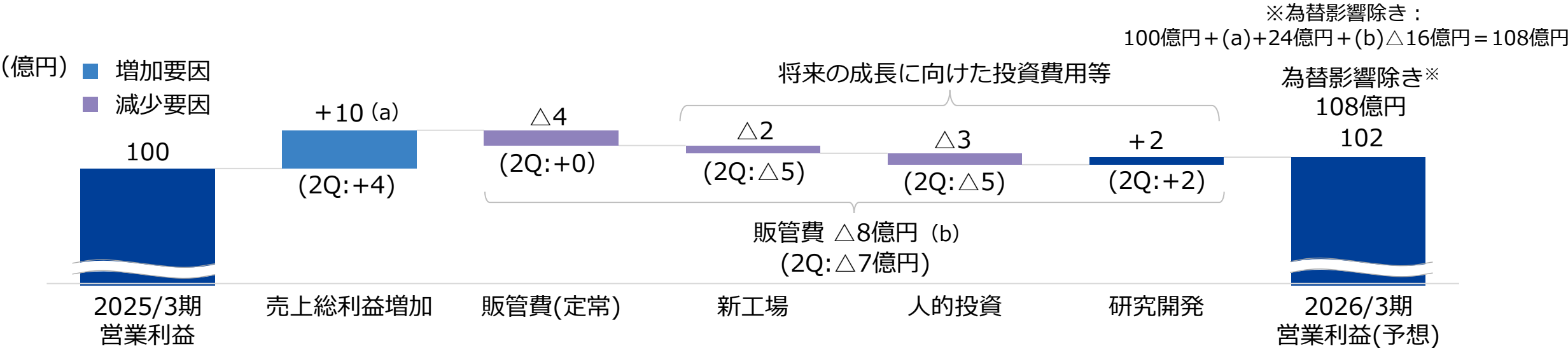
- ・オルソケラトロジーレンズのデザイン/規格拡充
- ・ソフトウェア開発による処方サポート向上
- ・レンズケアのプロダクトポートフォリオ拡充に向けた開発・薬事承認申請

その他アジア

- ・処方家育成センターを活用した処方家育成
- ・グループ販社を通じた販売拡大
- ・インドでの臨床研究の実施による市場開拓

25/3期実績と26/3期予想の増減分析（営業利益）

主に1DAY販売拡大による売上総利益の増加を予想
販管費は適切にコントロールを実施



項目		3Q以降の見通し	業績へ影響する要因
売上総利益		1DAYの販売拡大、価格改定効果(国内2Q) 中国オルソ関連売上構成比減少 マレーシア工場稼働に伴う原価計上(3Q～)	・ 中国経済の動向、国策変化、競合環境変化 ・ 設備投資の進捗 ・ 販売状況に応じた費用の使用額の変動 ・ 為替の変動 ・ 米国関税政策
販管費	新工場	稼働準備費用増加(～2Q)、稼働後は在庫/原価へ(3Q～)	
	人的投資	賃上げ等人員への投資	
	研究開発	前年同様、製品展開国の拡大や新製品の開発	



2026年3月期 連結業績予想のポイント

上半期実績： グローバルでの1DAYの販売拡大等により、「1DAY+その他CL・ケア」は市場と同程度の伸長、利益面においては価格改定効果も寄与しEBITDAは増益

下半期見通し： 「投資実行期」から「投資回収期」への転換に向けて、マレーシア工場稼働、国内外の1DAY販売活動の強化等により連結業績予想の着地を見込む

	2Q実績	前年同期比	通期業績予想（進捗率）
売上高	614億円	+1.5%	1,250億円（49.2%）
ビジョンケア事業	572億円	+1.7%	1,161億円（49.3%）
1DAY+その他CL・ケア	504億円	+3.8%	1,036億円（48.7%）
オルソケラトロジー関連	68億円	△11.2%	125億円（54.4%）
ヘルスケア・ライフケア事業	42億円	△1.7%	89億円（47.2%）
営業利益	51億円	△5.8%	102億円（50.7%）
EBITDA	100億円	+5.8%	192億円（52.1%）

参考資料

連結貸借対照表サマリー

(百万円)	2025/3末	2025/9末	増減額
現金・預金	42,046	35,827	△6,219
受取手形・売掛金	13,641	14,294	+653
棚卸資産	21,218	22,530	+1,311
その他	5,762	5,409	△353
流動資産	82,669	78,061	△4,607
有形固定資産	83,064	88,080	+5,016
無形固定資産	15,595	14,737	△858
投資その他	6,261	6,184	△76
固定資産	104,921	109,002	+4,081
資産合計	187,590	187,064	△526

設備投資や
自己株式取得等

1DAY工場
設備投資等

(百万円)	2025/3末	2025/9末	増減額
支払手形・買掛金	6,419	6,016	△402
短期有利子負債	3,234	6,869	+3,635
未払金	7,381	4,202	△3,178
その他	9,457	10,578	+1,120
流動負債	26,492	27,666	+1,174
長期有利子負債	71,857	69,861	△1,995
その他	3,111	2,979	△132
固定負債	74,968	72,840	△2,127
負債合計	101,460	100,507	△953
純資産合計	86,129	86,557	+427

2025年9月30日

自己資本比率	45.9%
ネットD/Eレシオ	0.5

現金・預金残高	35,827
有利子負債	76,731

2026年3月期 連結業績予想 2025年5月14日予想から変更なし

(百万円)	2025/3期	2026/3期 予想	前年同期比
売上高	121,491	125,000	+2.9%
売上原価	56,456	58,900	+4.3%
(原価率)	46.5%	47.1%	(+0.6pt)
売上総利益	65,034	66,100	+1.6%
販売費及び一般管理費	55,022	55,900	+1.6%
(売上高販管費率)	45.3%	44.7%	(△0.6pt)
営業利益	10,012	10,200	+1.9%
(売上高営業利益率)	8.2%	8.2%	(—)
EBITDA	18,457	19,200	+4.0%
(EBITDAマージン)	15.2%	15.4%	(+0.2pt)
経常利益	9,567	9,500	△0.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,597	5,800	+3.6%

(参考) 為替影響を除くと売上高は+4.4%の伸長を予想

* 2025/3期における実勢レート EUR : 163.7円、USD : 152.6円、CNY : 21.1円
 2026/3期(予想)における前提為替レート EUR : 161.2円、USD : 142.6円、CNY : 19.0円

2026年3月期 連結業績予想（売上高の内訳）

2025年5月14日予想から変更なし 

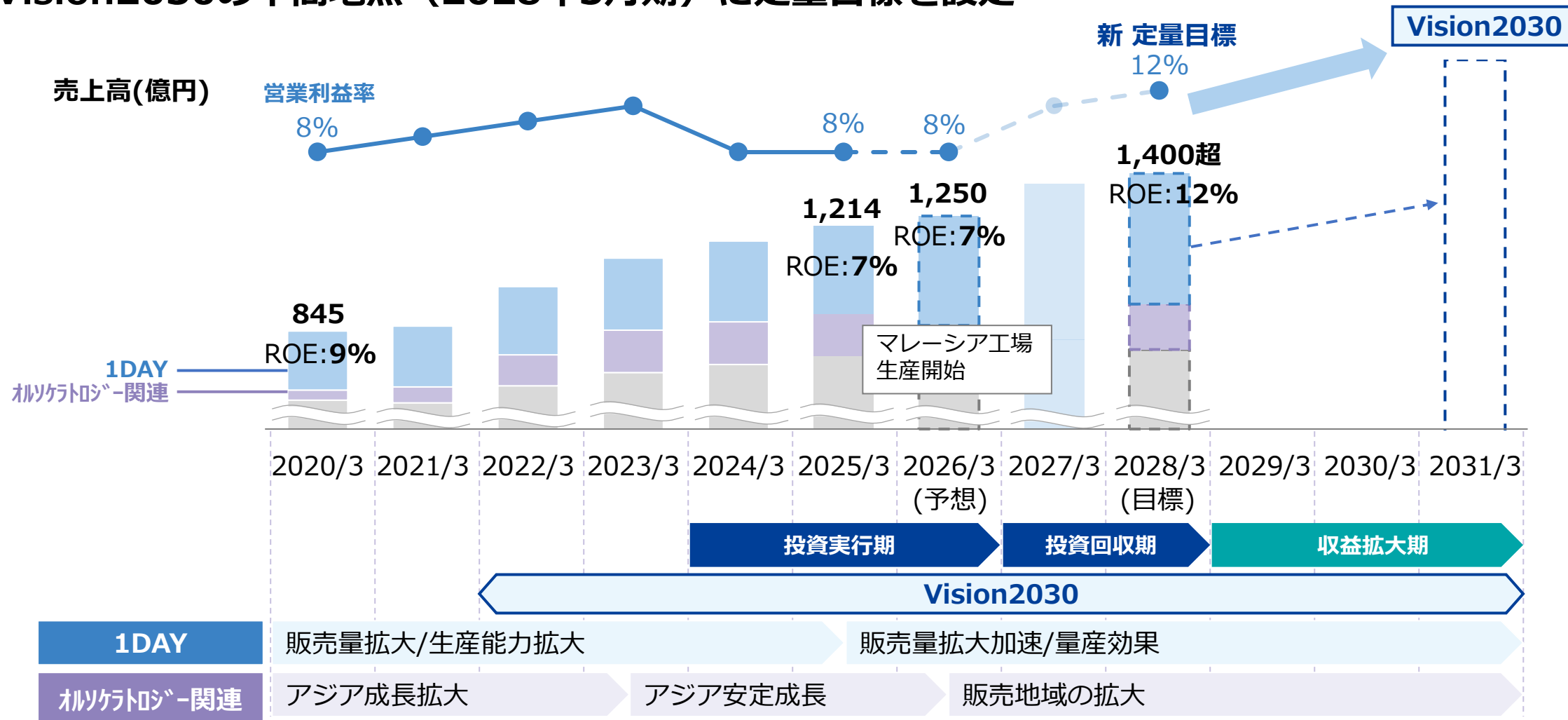
(百万円)	2025/3期	2026/3期 予想	前年同期比	前年同期比 (為替影響除き)
売上高	121,491	125,000	+2.9%	+4.4%
ビジョンケア	112,327	116,100	+3.4%	+4.9%
1DAY	30,940	34,700	+12.1%	+12.6%
国内_メルスプラン	22,458	23,300	+3.7%	-
国内_物販	5,740	7,000	+21.9%	-
海外	2,742	4,400	+60.5%	+65.3%
オルソケラトロジー関連	14,889	12,500	△16.0%	△8.1%
その他コンタクトレンズ・レンズケア	66,496	68,900	+3.6%	+4.3%
ヘルスケア・ライフケア	9,163	8,900	△2.9%	△1.7%
1DAY+その他コンタクトレンズ・レンズケア	97,437	103,600	+6.3%	+6.9%
メルスプラン	49,783	51,000	+2.4%	-

* 2025/3期における実勢レート EUR : 163.7円、USD : 152.6円、CNY : 21.1円
2026/3期(予想)における前提為替レート EUR : 161.2円、USD : 142.6円、CNY : 19.0円

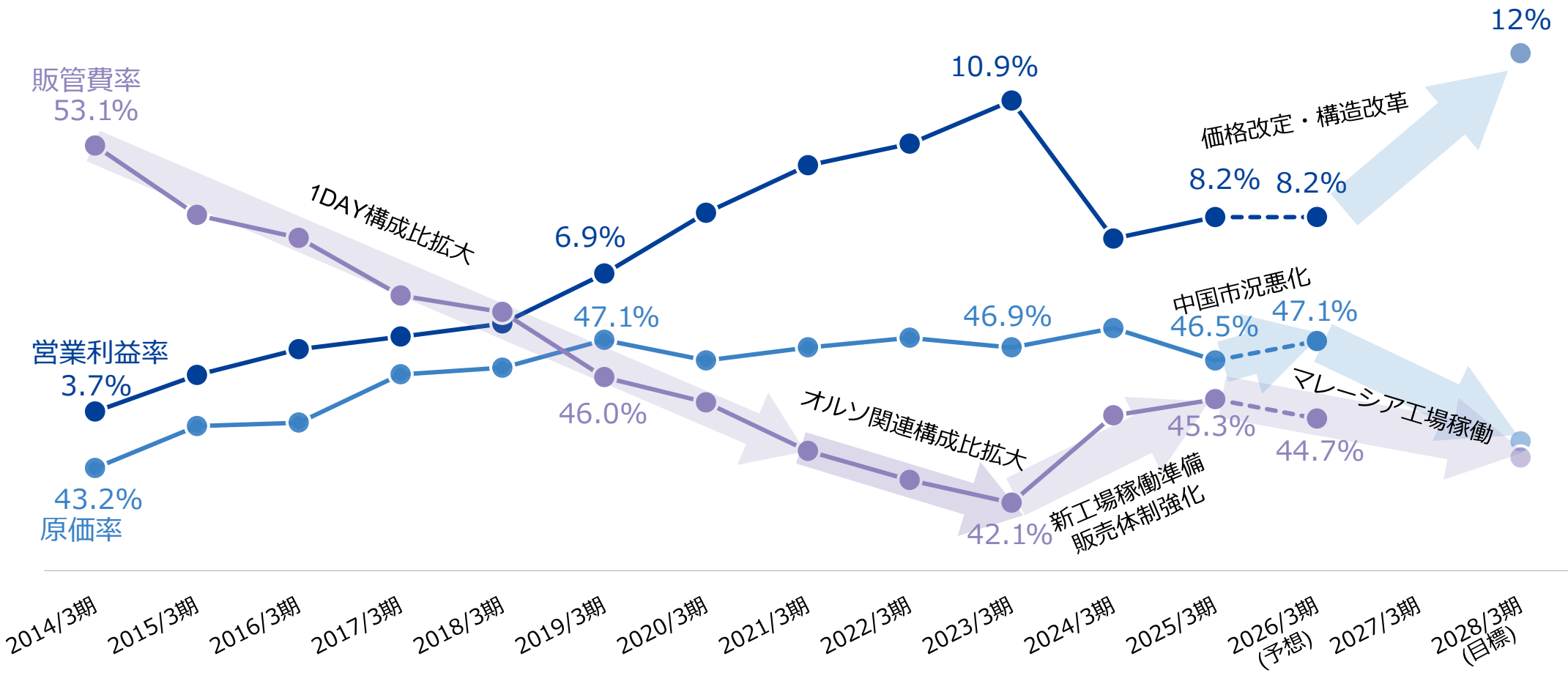


マイルストーン2027の進捗（変更なし）

Vision2030の中間地点（2028年3月期）に定量目標を設定

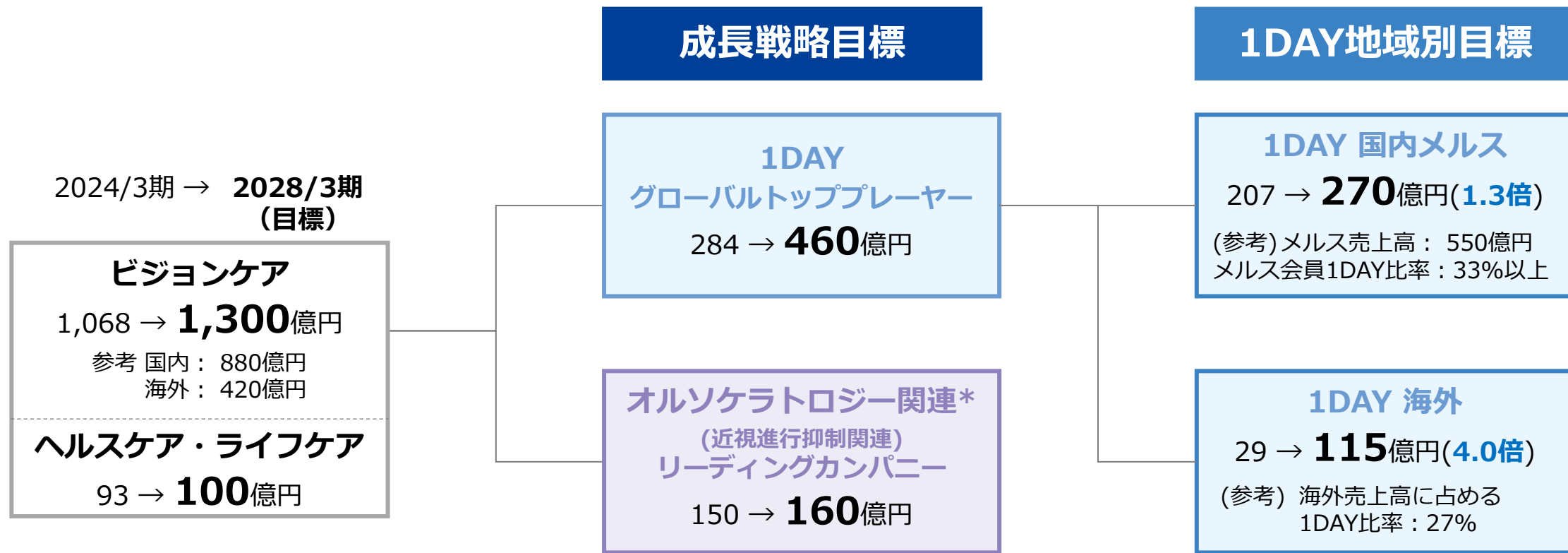


原価率・売上高販管費率・営業利益率推移



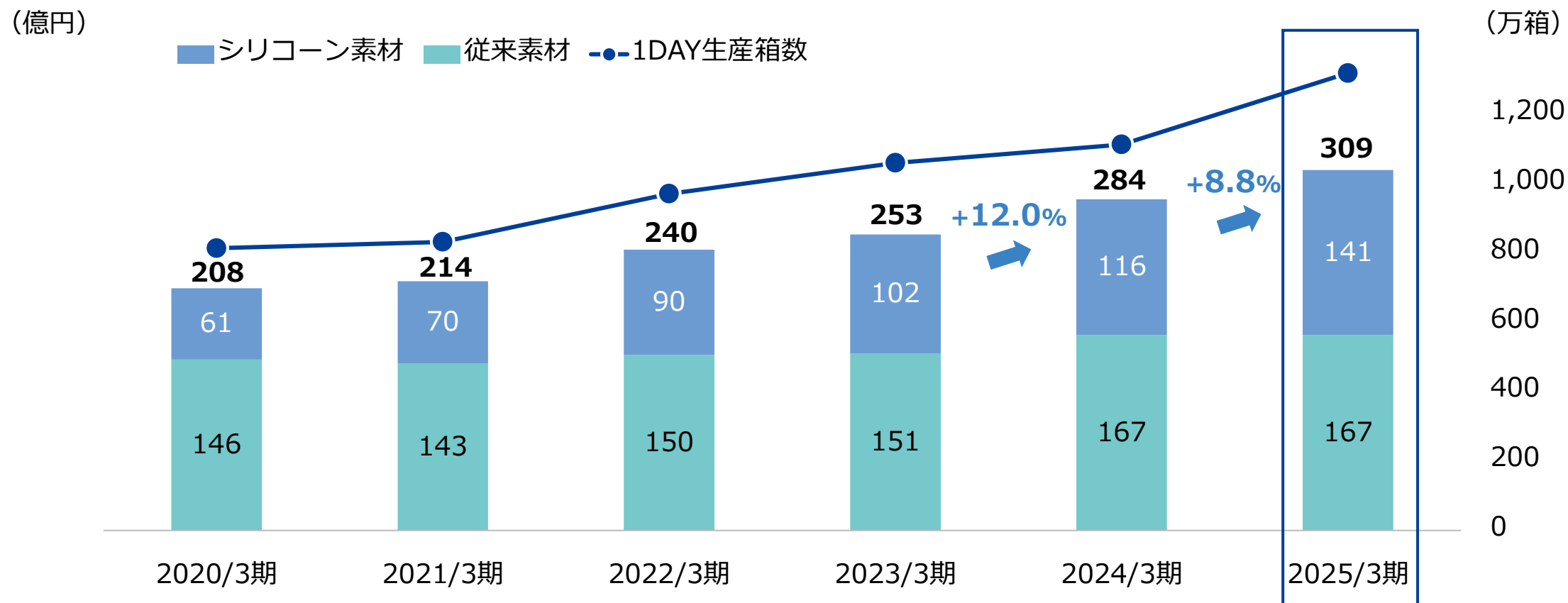
成長戦略目標 & 1DAY地域別目標（変更）

成長戦略を実現する事で目標達成を見込む



*オルソケラトロジーレンズ（グローバル）
及び レンズケア（アジア）の合計

生産能力の増強により1DAY売上高が増加

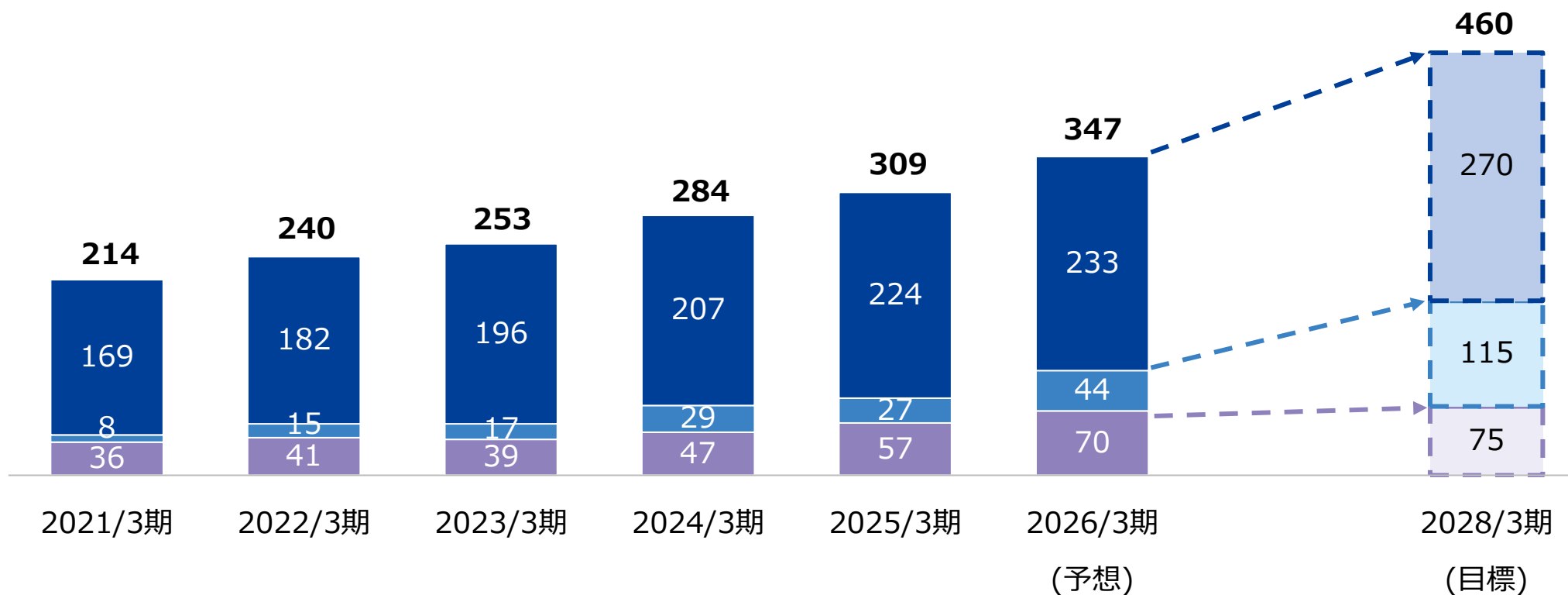


*1DAY売上高：他社からのOEM供給品を含む

1DAY売上高予想（売上高の内訳）

国内OEM品導入及び生産能力増強に伴い、メルス(1DAY会員数増加)・海外(欧米中心に販売拡大)での伸長を見込む

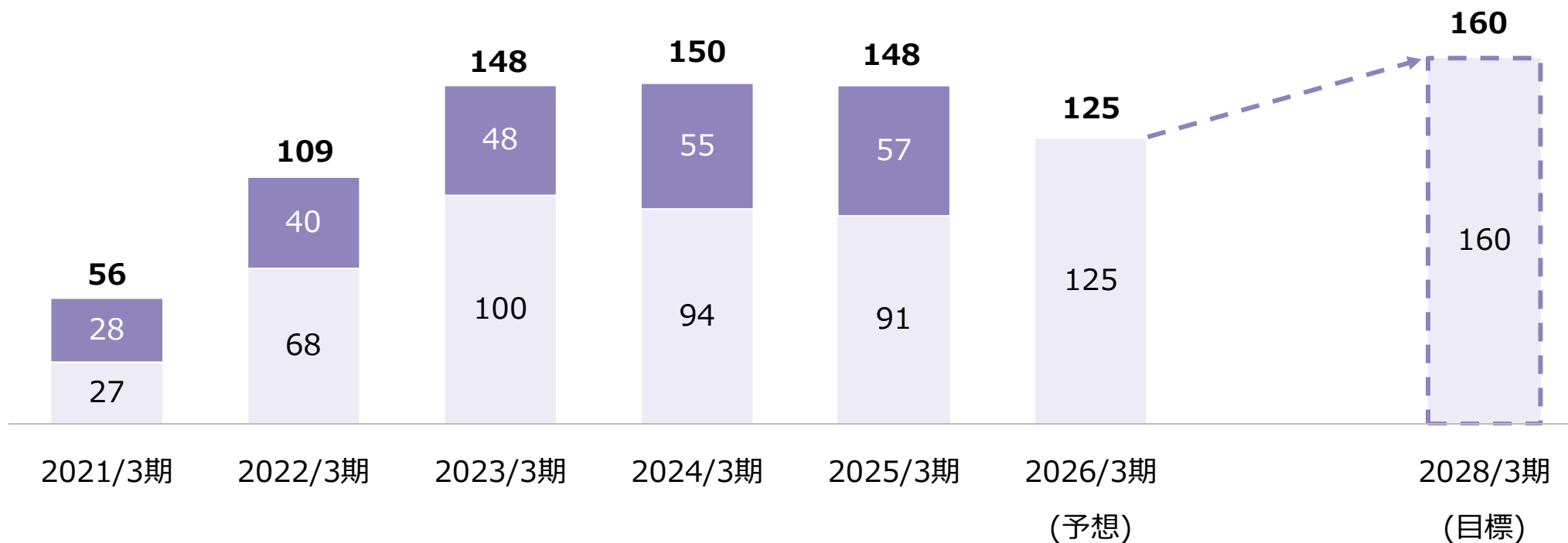
(億円) ■メルス ■海外 ■国内物販



オルソケラトロジー関連売上高予想（売上高の内訳）

中国市場成長停滞による売上減少もその他地域での伸長を予想

(億円) ■ オルソK(グローバル) ■ レンズケア(アジア)



事業領域の拡大

成長性・収益性及び効率性の観点から事業ポートフォリオの見直しを2025年3月期に実施
今後も資本収益性を意識しつつ第2の柱となる事業創出を目指す

ヘルスケア

ライフケア

動物医療

食品



生殖補助医療関連
開発・販売

- クリニック向け
・ 運動精子選別装置



フェムテック商材
開発・販売

- クリニック/EC販売等
・ 妊活サプリメント
・ その他フェムテック商材等



環境関連
開発・販売

- 農業/畜産向け
・ 堆肥化促進材
・ 稲わら分解促進材等



グリーンインフラ
開発・販売

- ホームセンター向け/EC販売等
・ 芝等



開発・販売

- 動物病院向け/EC販売等
・ 動物用眼内レンズ
/コンタクトレンズ
/手術用機器
・ 動物用サプリメント等



販売

- 食品スーパー/卸業者向け
・ 鮮魚・米（輸出）
・ 乾物等（輸入）

免責事項および将来見通しに関する注意事項

免責事項

- この資料は投資家の皆様の参考に資するため、株式会社メニコン（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです
- 当資料に記載された内容は、2025年11月14日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります
- 投資を行う際は、必ず投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません

お問合せ先

株式会社メニコン 財務&IR部

TEL : 052-935-1646

E-mail : menicon-ir@menicon.co.jp

www.menicon.co.jp/company

